

## 小規模校への対応協議

### 豊川教育推進懇が初会合

豊川市教委は二十一日、少子化の進展による小中学校の課題対応を検討する「豊川市の未来を拓く教育推進懇談会」の第一回会合を音羽庁舎で開いた。懇談会では今後、市教委が本年度中に策定する小規模校への対応に関する基本方針への意見を求めていく。

愛知教育大の伊藤貴啓副学長が会長を務め、学識経験者やPTA関係者ら六人で構成。この日は、市内の小中学校の現状や将来の入学児童数の見込み、国の小中学校の適正規模や適正配置の方向性などを示し、情報共有をした。

市教委側からは、今後まとめる基本方針の中で、市

として標準とする学校規模を明確にし、その規模以下の小規模校への対応方法を整理する必要があることなどが説明された。

市では公共施設適正配置計画などで、複式学級が予想される時点で、学校の統合や転用を検討するという方針が決まっている。出席

(吉田幸雄)



学識経験者らを集めて開かれた教育推進懇談会―豊川市音羽庁舎で